

2023年度

事業報告書

社会福祉法人 穂波学園

法人本部

経営理念

社会福祉法人穂波学園は、利用者様の意思と人格を尊重し、利用者様の立場にたったサービスの提供と、社会生活への支援を経営の基調とし、創設者の「愛ある限り愛を、生命ある限り生命を」との心情を忘れず、創造性をもって積極的にサービスに取り組み、福祉の推進役という意識をもって地域社会に貢献する。

2023年度 法人本部 事業報告

2023年度は園の恒例行事や外出などコロナウイルス流行前の状態に少しずつ戻せるよう努めてまいりました。感染症対策は怠らず、安心して楽しんでもいただけるよう工夫し、保護者様とも過ごしていただく時間ができました。

利用者様の各種スポーツ大会にも積極的に参加し、県外での強化練習などを通し、数年ぶりに他施設との交流や意見交換ができ、良い経験となりました。

職員処遇においても外部研修会に積極的に参加し、資質向上に努めました。また待遇の充実や更なる知識、技能習得に向け、強度行動障害研修を受けていただきました。

○第61回 開園記念式典

【永年勤続表彰】	10年勤続… 1名
	20年勤続… 6名
	40年勤続… 1名
	45年勤続… 1名
【特別表彰】	介護福祉士資格取得… 2名
	保育士資格取得… 2名

計 13名

行事報告

2023年	4月10日	第61回開園記念式典
2023年	5月1日	会計士監査
2023年	5月8日	理事長監査
2023年	5月10日	監事監査
2023年	5月22日	理事会
2023年	6月9日	定時評議員会
2023年	6月9日	理事会
2023年	7月19日	理事会（省略決議）
2023年	9月30日	学園祭
2023年	10月4日	理事会
2023年	10月13日	評議委員会
2023年	12月7日	第三者委員会
2024年	3月1日	理事会
2024年	3月13日	評議委員会

【地域貢献・交流事業】

- 近くの神社（大谷神社、石道神社）の行事前清掃。
- 敬老の日やクリスマスには近隣の高齢者宅を訪問し、安否確認と共に要望等を聞くが特にはなく、感謝の言葉をいただく。
- 大学、短期大学の実習受け入れ。
- 九州北部豪雨により土砂災害の被害を受けた田主丸町にある障がい者支援施設の災害復旧の応援に行く。
- 飯塚市社会福祉法人地域公益活動連携協議会に参加。その要請により九州北部豪雨による東峰村災害復旧ボランティアに参加。
- 土砂災害被害にあった障がい者支援施設に呼びかけ、昼食と入浴の場を提供し、疲れた心と体をいやしてもらう。
- 毎月、施設周辺の道路の清掃を全職員で行う。
- ふくおかライフレスキュー事業…生活支援1件。

【防災管理・防犯管理】

避難訓練を月一回実施し、火災・土砂災害・地震・風水害・不審者侵入対策と様々な状況を想定し、安全に避難が出来るよう訓練を行うとともに、併せてライフライン等、安全衛生推進委員を中心に確認を行う。

【衛生管理】

今年度も例年同様に循環浴槽は利用者様が安心して入浴が出来るようバイオフィーム形成の阻止、菌の増殖抑制のため、週1回の清掃、消毒、完全換水を行いました。

5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類へ変更となりましたが、当法人ではコロナ禍と変わらず手指衛生や身体・公用車・居室、共有場所などの消毒を行いました。園内での感染症研修を年に3回実施し、職員ひとり一人が感染症への理解を深め、利用者様の支援にあたる際の適切な対応を身に付けるよう努めました。

【専用水道維持・管理】

毎月、水質検査を行うと共に専用水道設備の維持管理を行いました。

各所の部品も物価高騰の影響を受けているため、いつでも対応できるよう積立を行いました。